

214名が受講 平成25年度第2回 資質向上講習会 (一社) 広島県配置医薬品連合会



城本講師



藤谷講師



小島講師

一般社団法人広島県配置医薬品連合会(小島恒治会長)の平成二十五年度第二回広島県資質向上薬事講習会は、十月十日午前九時から広島市中区加古町の広島市文化交流会館で、広島県

健康福祉局薬務課と株式会社パルタック広島支社の協力を得て開かれ、二百十四名が受講した。門那良三副会長の司会で進められ、小島恒治会長が開会のあいさつを述べた。

まず「漢方講座」として二反田正弘二反田薬品工業(株)社長が講義。ついで薬事関係講義として、献血関連・薬と健康の週間・タメゼツタイ運動・各種申請書・リスク区分に



午前と午後には小テストも実施



献血活動も実施

関して、薬務課の城本隆昭主任が講義。そのあと午前十一時半から薬務課の講義内容について三十問の確認テストがおこなわれた。

の現状・配置従事者の倫理等について講義。引き続き「配置販売業の歴史」について、小池一正資質向上対策委員長(薬剤師)が、多くの写真スライドを使いながら、配置販売業の歴史と伝統を伝えた。

昼食を挟んで、午後一時から、肝臓に関するDVDを上映。続いて「医薬品の適正使用・安全対策」「薬事関係法規・制度および倫理」について、前広島県環境衛生課長の藤谷幸治(株)パルタック管理薬剤師が、個人情報保護法・インターネット販売・登録販売者の

そのあと一制度の基本・配置販売業の実情・各種申請について小島会長(登録販売者)が講義。そして午後の部の講義内容について三十問の確認テストを実施、解答の終わった受講者から退席とし、午後六時十分に全員が退席し

た。当日の確認テストは、薬務課の三十問と午後の部の連合会の三十問を合計して集計すると共に、解答用紙で出席確認をし、後日、薬務課にデータを報告することとしている。



ガンとしているが、今年度は

当日は各種ポスターや、通信教育の成績発表が掲示され、通信教育の不合格者九名には追試が行われた。広島連合会では全業者の三十時間研修受講をスロー

も全業者から通信教育テスト解答の提出があった。新会員・退社会員のチェックも行われ、九〇%以上の会員に受講証明書が発行される予定となった(広島県では毎年提出する配置従事届に受講証明書を添付する事が決められており、厳格に対応される。また、研修が三十時間以上受講出来なかった者は、理由(途中入社・病気等)を明確にして申請することし場合によっては確約書等の提出を求められることもある)。

献血や募金、理事会も開催

当日は、献血活動も実施し、会場駐車場に横付けされた献血車で会員四十一名が協力した。

また、途中の休憩時間には車椅子の贈呈式の模様をスライド映写して報告しながら募金も実施した。

講習会終了後の午後六時二十分からは、秋季理事会を別室で開催、理事十九名が出席した。

金田和宏副会長の司会で始められ、議長は小島会長が兼ねて進行。六月～十月の会務報告・会計中間報告・通信テキスト。講習会後には理事会も開催

定期総会に關しての意見交換のあと、四十周年祝賀会・役員改選等を議題とした。その結果、十一月十四日に広島市文化交流会館で県薬務課から係官を招き各種

申請書の一括受付を行ったあと、定期総会を開催し、午後五時から設立四十周年祝賀会を開催することとし、午後七時五十分閉会した。